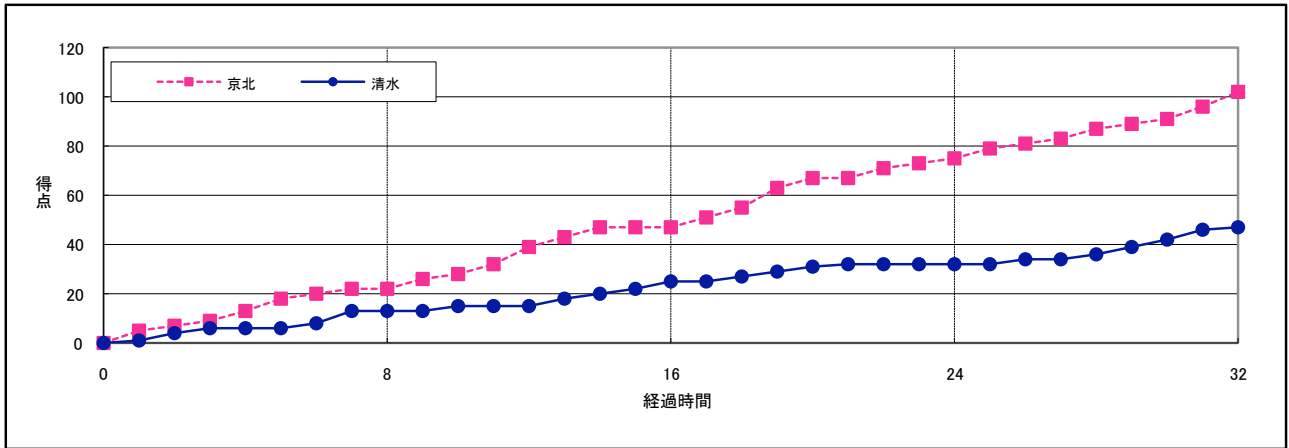


平成21年度全国中学校体育大会  
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	3日目 男子 Mコート第2試合 決勝トーナメント決勝			
日時	8月22日(土)		14:20 ~	
会場	鹿児島アリーナ			
結果	京北 東京 ○	102 } 22 1st 13 25 2nd 12 28 3rd 7 27 4th 15 OT	47 } ●	清水 鹿児島
審判	主審 岩木 太郎		副審 加藤 秀典	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

京北								
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則	
4	伊藤達哉	×	32	2	11	4	2	
5	三上健人	×	22	0	11	0	2	
6	木林毅	×	14	0	7	0	4	
7	佐藤太紀	×	13	1	5	0	0	
8	大塚達史	/	0	0	0	0	0	
9	宇田川尚輝	/	0	0	0	0	0	
10	後藤和	/	2	0	1	0	0	
11	高橋涼	/	2	0	1	0	0	
12	西山誠也	/	2	0	1	0	1	
13	川久保駿							
14	新川敬大	×	15	0	7	1	0	
15	安保友貴							
16	斉藤孝幸							
17	小林耀							
18	岡田大貴							
監	田渡優							
C	田代直人							
合計			102	3	44	5	9	

空欄=出場なし

清水								
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3 P	2 P	F T	反則	
4	松下剛介	×	8	0	3	2	0	
5	玉寄国章	×	8	2	1	0	2	
6	窪田溪之							
7	楠元龍水	/	0	0	0	0	0	
8	川畑仁悠							
9	森大樹	×	12	0	6	0	1	
10	瀬戸口陽							
11	木戸祐輔	/	4	1	0	1	0	
12	中園健悟							
13	金子熙	×	4	0	2	0	2	
14	野間進太郎	×	11	3	1	0	2	
15	岡元浩亮							
16	戸高七央斗							
17	源川翔太							
18	朝倉栄紀							
監	川添裕司							
C	日高佳子							
合計			47	6	13	3	7	

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

男子決勝は関東ブロック代表京北中学校と開催地代表清水中学校の対戦となった。

第1P、開始早々、京北は#4の3Pシュートで先制。清水は序盤硬さが見え、なかなか点が取れない。清水は#4のフリースローで初得点をあげる。清水は、京北の2-3ゾーンに苦しめられ思うようにシュートが打てず、約3分間得点が止まる。一方、京北は#5のドライブシュートや#7の3Pシュート等で得点を伸ばしていく。残り、3分37秒、京北#7のインターセプトから速攻が決まり、即清水はタイムアウトをとる。しかし、京北はオフェンスリバウンドを奪い、立て続けに連続得点をあげ、流れをつかむ。清水も残り1分半から#5の3Pシュートをはじめ連続得点をあげるが第1P、京北22-13清水と京北リードで終える。

第2P、京北は#4から#6にパスが渡り速攻を決めていく。京北は2-3ゾーンを続け、清水のミスを誘う。清水は#13のミドルシュートで得点をあげるが、開始約4分間、2得点におさえられる。京北は#4がオフェンスの起点となり得点を重ねていき、点差を広げた。開始3分42秒、京北#4がドライブをしかけファウルをもらったところで、清水は前半2回のタイムアウトをとる。その後、清水はパスをまわし、ゾーンを崩そうとするが、京北の硬い守りに、シュートが打てない。残り3分55秒#11の3Pシュートで点差をつめるが、京北も#5のジャンプシュートを決め、点差は変わらず。その後も京北は速攻を絡めた速い展開で点数を重ね、第2P、京北47-25清水と京北がリードして終える。

第3P、清水は出だし京北の2-3ゾーンを崩せず、シュートは打つものの点数に結びつかず、京北はディフェンスリバウンドをきっちり押さえ、セカンドシュートを打たせない。京北は、清水のターンオーバーなどから速攻に持ち込み勢いづく。清水は開始3分、#4から#9に合わせのパスが決まり得点をあげるが、京北は清水が得点するとすぐに得点をとり返す。その後も京北がオフェンスリバウンドを奪い、点差を広げ、京北75-32清水で第3Pを終える。

第4P、京北は流れをそのまま継続し得点を伸ばしていく。清水は途中オールコートマンツーマンに変え、プレッシャーをかけたがタイムアップ。京北102-47清水。京北が10年ぶり2回目の優勝を飾った。